

NEW CROWN 授業実践事例

BOOK 1 LESSON 3 授業例①

O.T. 先生

指導計画表

(全6時間)

時間	学習内容・主な活動
1	帯活動： 歌 スリーヒントクイズ Phonics 通訳読み 動詞 (TPR) チャンツ 基本動詞 (一日のルーティン) 弾丸インプット 一般動詞の説明 自己紹介を交えて (語順) 一日のルーティン書く 一日のルーティン発表 H.W: 動物になりきりスリーヒントクイズを作る。
2	帯活動: (省略) + 自己紹介 オーラルイントロダクション 単語練習 本文の導入, 理解
3	帯活動: (省略) スリーヒントクイズの応用 メカニカルドリル 自己紹介 作成 Show and tell (group)
4	帯活動: (省略) + メカニカルドリル オーラルイントロダクション 単語練習 本文の導入, 理解
5	帯活動: (省略) + メカニカルドリル ドラえもんとのび太の会話 発表
6	帯活動: (省略) + メカニカルドリル オーラルイントロダクション 単語練習 本文の導入, 理解

実践例

1. はじめに

S. Krashen の Input Hypothesis, M. Swain によって提唱された Output Hypothesis の双方とも第二言語習得に重要な主張と考えている。できるだけ多くのアウトプットを授業内で目指し、アウトプットオリエンテッドな授業展開を行うため、ペアワーク、グループワークを多く取り入れている。

このレッスンでは、一般動詞の導入で、生徒たちは、既に be 動詞以外の動詞を少し知っていることもあり、be 動詞との文型の違いと活用に力を入れた。活用においては、場面を設定し、レッスンプランを作成した。このレッスンでの目標は次の通りである。

- ①一般動詞を用いて自己紹介できる。
- ②一般動詞を用いて1日の生活を書き話すことができる。
- ③動物を一般動詞で紹介することができる。
その動物について質問し答えることができる。
- ④What と一般動詞を用いて尋ねることができる。

2. 帯活動について

毎授業始めの20分弱を帯活動の時間に当てている。生徒たちは、毎日同じ活動を行うので次に何をするのか十分な理解もあり、意欲的に取り組んでいる。活動内容としては、以下の8つがある。

- ①5 questions : 授業では、ペアワークの度にじゃんけんをする。じゃんけんをすることで、授業にテンポが生まれ活気にあふれる。5 questions の内容は、ペアでのあいさつから始まり、5つの質問をする。a. What time is it now? b. How are you? c. How is the weather? d. What day is it today? e. What's the date today? ペアに余裕があれば+1としてオリジナルの質問をペアでする。
- ②自己紹介 : 既習の be 動詞を使って自己紹介をする。例) Hello. I am ~. I am 12 years old. I am a junior high school student. Nice to meet you.

③歌 : 毎月1曲、「今月の歌」のような形で紹介する。この英語入門期では英語のリズムを身に着けて欲しいので Top of the World. を全員で歌う。

④Phonics : 4月の授業開きから取り組んでいる英語の音と文字の一致する活動。単語のインisialの音だけでなく音と音の足し算に焦点を当てている。

⑤通訳読み : 一つ前のレッスンを復習、そして、暗記する活動。ペアになって日本語→英語、と繰り返し時間内にペアの相手から言われた日本語を英語に変換し発信する活動。Slow learner に対しては、一文が長い場合スラッシュリーディングで暗唱を進める。

⑥Three hints quiz : 教師が3文で何を説明しているかわかるように一文ずつ読み上げ、分かった生徒から座っていく活動。一般動詞を導入する前に一般動詞を使用し、その単語の意味を推測させるために行っている。現在の計画で秋頃には、一般動詞がある程度の量を既習できているので、生徒たちだけでペアでスリーヒントクイズを作成し問題を出し合うようにしたい。そして、1年生で約1分の英語で与えられたトピックで1min.チャットができるよう指導をしたいと考えている。

⑦一般動詞 : 4月から一般動詞を選定し、動詞の読み、意味を確認した後、教師によって読み上げられた一般動詞を含むフレーズをジェスチャーし、リピーティングをしながら体で表現する。選定した一般動詞は、2種類である。1つ目は、教科書 p.140 にあるいろいろな単語の1日の行動の単語である。

get up/ wake up, go to bed, wash my face, brush my teeth, change my clothes, brush my hair, eat breakfast, return home/ go home. have a snack, do my homework, cook dinner, wash the dishes, take a bath, do the laundry, vacuum, walk the dog, feed the cat, take care of my birds, go shopping, read a newspaper, watch TV

2 つ目は、学年の教師と相談し選定した動詞である。

play baseball, go to school, drink coffee, watch TV, open a book, cook *yakisoba*, read a book, write my name, pick up a pen, sing a song, say "hello", clean my classroom, help my friend, visit Osaka, do my homework, live in Tokyo, listen to music, come to school, eat lunch, see a movie, close a book, make *takoyaki*, study English, bring a textbook, put down a pencil, use a computer, teach English, speak English, meet my friend, touch my head, enjoy a trip, look at the blackboard, want a chocolate

一般動詞の定着の為、TPR を用いて指導しているが英語と体の動きが一致する長所がありながら、ただ、アクションにしにくい動詞もある。

⑧チャンツ：新出文法毎に新しいチャンツに取り組んでいる。教師が作成するオリジナルチャンツも使用するが、このレッスンでは、肯定文、疑問文、否定文、what を使った疑問文が全て入っている、高橋一幸著『チャンツでノリノリ英語学習！』を使用した。

A: Do you like soccer? /
Do you play soccer?
B: No, I don't. I don't like it.
A: Do you like volleyball? /
Do you play volleyball?
B: No, I don't. I don't like it.
A: What do you like? / What do you play?
B: I play tennis. I like it a lot.

チャンツを用いて強く、ゆっくり発音される語もあれば、弱く、早く発音する語もある。また、2 つの音がつながったり、音が消えたりする英語独特のリズム、アクセント、イントネーションを身に付けて欲しい。手法としては、全体のコーラスリーディング、ペア、リレーチャンツと様々な手法を用いる。そして、このレッスン中だけ加える帯活動として⑨弾丸インプットと呼ばれるメカニカルドリルを行った。ここでのメカニカルドリルは、教師が一般動詞を使った 10 の文を用意する。(例)

P: あなたは、野球をします。
I: You play tennis.
P: 疑問文
I: Do you play tennis?

P: 否定文
I: You don't play tennis.
P: What の疑問文
I: What do you play?
P: I play tennis.

このように、ペアで機械的に文を作成するドリルも帯活動に加えている。

3. 新出文法を使った活動










(a) 一般動詞の導入

①一日のルーティン

TPR を用いて一日の行動のフレーズを学習した後、We're Talking②の復習を兼ね、"I get up at seven o'clock." と、文にしていく。さらに、下のシートを使い what time + 一般動詞疑問文の導入時に Q: What time do you get up? A: I get up at seven o'clock. などのペアでの質疑にする。

Draw and Write about your day!!

Class # _____ name _____

	_____		_____		_____
	_____		_____		_____
	_____		_____		_____

②自己紹介

帯活動の be 動詞を使った自己紹介を発展的に

Hello. I am _____. I like _____. I play _____. I study _____.

I=○の be 動詞とだれ・何が / どうする / だれ・何を の文型の違いに留意しながら説明しペアで練習する。この自己紹介の練習を次の否定文を含めた show and tell へ繋げる。

③スリーヒントクイズの作成

Ex) Who am I?
1. I like carrots. 2. I have long ears.
3. I can run and jump.

(b) 一般動詞疑問文の導入

①スリーヒントクイズ Q and A : 上で例を出したスリーヒントクイズを Q and A で会話にする活動。(家庭学習でスリーヒントクイズ作成済, JTE と ALT のチェック後の活動)

Ex)

- P: Are you an animal?
 T: Yes, I am.
 P: Do you live in Japan?
 T: No. I live in China.
 P: Do you like fruits?
 T: No, I like bamboo.
 P: Do you have some black spots?
 T: Yes, I do.

質問に対し No. だけで終わることなく +1 センテンスになるよう指導する。

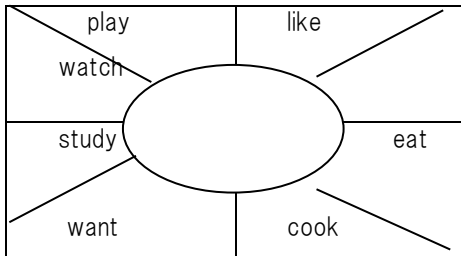
(c) 一般動詞否定文の導入

①自己紹介を show and tell

生徒に 4 つ切の画用紙を配り, 真ん中の○には自分の名前を書き, 各動詞の枠に肯定文と否定文, そしてそれらを絵で表現して描いていく。

Ex) I like softball. I don't like soccer.

show and tell の方法で発表していく。後に生徒が描いた作品を学校での文化祭の英語科での展示発表としている。



(d) 一般動詞の what を用いた疑問文

What do you have in your pocket? 教科書の本文 “What do you have in your hand?” をアレンジしたスキットを使いデモンストレーションしていく。ペアでスキットを練習し, アイデアのある生徒たちは, 自分たちのオリジナルのスキットを作成する。

What do you have?

ドラえもん
のイラスト

A: What do you have in your pocket?
 B: I have A in my pocket.
 So, you B .

ドラえもん
のび太のイラスト

N: Hey, Doraemon!!
 What do you have in your pocket?
 D: I have A in my pocket.
 So, you B .

N: Thank you Doraemon.

1		"a Takekopter"	fly in the sky
2		"a time machine"	go to the future (mirai)
3		"a dorayaki"	eat a dorayaki
4		honyakukennyaku	speak English and Japanese
5			
6			

4. 教科書を使つての学習

基本的には, どのレッスンの GET もページの流れは同じにしている。聞いてみよう→新出単語練習→Q & A で進めるオーラルイントロダクション→音読→本文についての問題→暗唱, という流れである。

- ①聞いてみよう: CD を流し, 問いに答える
- ②新出単語: iPad でフラッシュカードを TV に映し出し, リズムミュージックと共にテンポよく進める。最初は教師のリピート, 次に英語を見て英語の発音, 最後に日本語を見て発音する。
- ③ピクチャーカードを使用し, オーラルイントロダクションを行う。生徒たちとたくさんの英語でのインタラクションをしながら内容を理解できるように進める。
- ④音読: 教科書を最低 10 回は読めるよう様々なバリエーションを使って音読練習をする。特にアクセント, イントネーション, リンキングを徹底的に練習。音読の最後に, モノログの文章では, 一人で落語家のように身振り, 手振りをつけた読みを行う。ダイアログでは, ペアでジェスチャーを用いた読みを教科書も見ずに演じることを目指し練習する。音読練習用のプリントを準備し cloze test のように部分的に本文を削除し, 規則的に (ex: 前置詞, 動詞, 機能語と内容語) を削除したプリントを用意し音読練習をする。特に, 機能語と内容語による本文のアクセントにこだわっている。チャンクリーディングの手法をとっているため, スローラーナーも練習し易くなっている。そして, 音読カードを子供たちに配布してい

るので、家庭で音読カードに沿って音読練習ができるよう、また、クラスの友達と練習するようにしている。そして暗唱につなげている。

- ⑤本文についての問題を解く：この活動も別紙プリントを配布する。

Lesson 3 GET 2

Kumi: ①Do you know kendo?

Paul: ② No, I don't. ③ What's kendo?

Kumi: ④ It's ⑤ like fencing.

I use this *shinai* for kendo.

Paul: Do you practice kendo ⑥ after school?

Kumi: ⑦ Yes, I do. It's fun.

- ①下線部を肯定文と否定文に。
- ②下線部を省略されていない形で
- ③下線部を日本語に。
- ④Itは何を指しているか。
- ⑤下線部の意味。A) I like soccer.
B) It's like fencing.
- ⑥下線部の意味。
- ⑦Noで答え、毎週月曜日に練習していると付け足す。

5. おわりに

教科書が聞く、読む活動から話す、書く活動につながるよう自己表現、自己発信の時間を充実させる作りになっている。私の場合、ペアワークの充実を目指し、生徒のアウトプットの時間を多くしている。アウトプットをより有意義なものにするため目標を明確にすることと、場面設定を明確にした言語活動に励めるよう教材作成に力を入れている。